



東青の環境公共だより

“地域づくりの新しいかたち” 環境公共

東青版第3号 平成27年12月19日
発行／東青地域環境公共調整会議事務局
〒030-0861 青森市長島二丁目10番3号
フコク生命ビル7F
東青地域県民局地域農林水産部農村計画課
TEL 017-734-9992 FAX 017-734-8312

1 東青管内の取組状況

東青地域県民局地域農林水産部では、農業・林業・水産業の3分野で連携しながら「環境公共」の取組を推進しています。平成20年度から取組んでいますが、平成27年度時点で53地区が3つの方向性（①地域力の再生、②農・林・水の連携、③環境の保全再生）のうち、いずれかに取組ながら活動してきました。

主な取組地区とその内容については、東青県民局地域農林水産部のホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。皆様のご訪問をお待ちしています。

◇ホームページアドレス◇

⇒ <http://www.applenet.jp/home/08000200/SEIBI/seibiindex.html>



2 H27年度の啓蒙・普及活動

(1) 工事チラシ配布の取組

県では、農業農村整備事業の実施地区において、地域住民に「環境公共」の取組を広く周知するため、平成26年度から「環境公共」の内容を加味した工事チラシを試験的に配布することにしました。

東青県民局では、経営体育成基盤整備事業を実施している「諏訪沢地区（青森市）」とため池の改修事業を実施している「下小国たかのこ地区（外ヶ浜町）」の2地区について、工事チラシを地域住民に配布しました。この取組を契機に「環境公共」について、少しでも理解が広がれば幸いです。



(2) 全国土地改良大会青森大会で「環境公共」をPR

去る平成27年10月15～16日に、青森市のマエダアリーナ（新青森県総合運動公園）において、全国土地改良大会青森大会が盛大に開催されました。青森県では、全国の土地改良事業関係者の皆様に「環境公共」の取組を積極的にPR。三村知事も「環境公共」について基調講演を行い、熱く語りながら全国に向けて情報発信していました。

東青県民局では、経営体育成基盤整備事業の「上小国地区」と「ハッ役地区」、畑地帯総合整備事業の「野沢2期地区」について、全国の皆様に「環境公共」の取組状況について現地で紹介しました。中でもホタテ貝殻入りのAs合材には、皆さん大変驚いていたようでした。



◆ 取組地区の紹介

“水資源や生活環境を守る森林(保安林)”

奥地保安林保全緊急対策事業（平内町狩場沢字堀差）

堀差地区は、二級河川堀差川源流部に位置する重要な水源林(土砂流出防備保安林)となっており、流れ出した水は生活・農業用水等に利用されているとともに、陸奥湾の豊かな漁場資源を育む源となっております。しかし、近年は森林の手入れ不足から荒廃が進んでいるため、平成22年から森林整備等を実施し、森林の持つ公益的機能回復を図っています。

本地区では、H23.7.28に地区環境公共推進協議会を設立し、工事内容等について打合せを行いました。谷止工の工事では、地域資源である間伐材を活用することで環境への負荷を軽減し、景観についても周辺森林と調和させた施設としました。

◆ 事業概要

工 期：平成22年度～平成29年度

事業費：474,700千円

事業内容：森林整備工 A=243.92ha

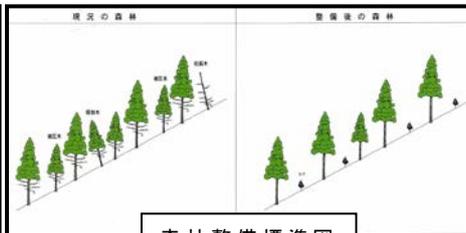
谷止工 N= 3個



土砂流出防止を図るための
県産間伐材を利用した谷止工



整備前



森林整備標準図



整備後

◆ 最近の話題

アユの放流

今別町の今別川と今別川支流の安兵衛川で魚道整備を行ったことで、魚類の遡上が可能となりました。

今別町内水面漁業協同組合では、魚類の遡上が可能となった今別川で、中山間ふるさと・水と土保全対策事業を活用してアユ(稚魚)を1万匹購入し、平成27年5月26日に地元園児のみなさん達と一緒に放流しました。

園児のみなさん達は楽しそうに放流し、放流後に行った水環境・水循環の大切さについてのお話も熱心に聞いてくれました。

この日はテレビ局の取材もあり、アユの放流や園児へのインタビューの様子等が夕方のニュースで放送されました。(^^)v



◆ 環境公共ワンポイント講座！

環境公共プロフェッショナル(水産部門)



伊藤 秀明：青森市

◆ 経歴

北里大学水産学部卒
青森県庁水産関係部
局の行政・試験研究
を歴任。

現在は環境公共プロフェッショナルとして、地区協議会に参画しながら水産基盤整備の取組みへアドバイスをを行っている。

専門分野は増養殖、資源管理や流通加工など水産全般。

◆ 豊饒の海を支える藻場

海の森である藻場は水産生物の住み場、餌場、産卵場や幼稚魚の保育場を提供するなど多くの水産生物の生活を支えています。また、チツソ・リンや炭酸ガスの吸収、酸素の供給などの水質浄化や海岸線の保全にも大きな役割を果たしています。

三方を海に囲まれ暖・寒流が交錯している青森県は、海域によって生育海藻が異なり、日本海ではホンダワラ、陸奥湾ではアマモ、津軽海峡と太平洋ではコンブなどが優先しています。

水産資源の恩恵を受け続けるためには、海域特性に応じた水産基盤の整備を推進し、多面的な機能を有する藻場とその機能を維持することが必要となります。

